

報道関係各位

2020年8月24日

アストラゼネカ株式会社

アストラゼネカ 業績発表のお知らせ

7月30日にアストラゼネカ英国本社が発表しました、2020年上半期業績発表プレスリリースのハイライトの日本語訳をお送りします。

この資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。

記

AstraZeneca PLC
2020年上半期業績
(別添 27 ページ)

以上

お問い合わせ先

アストラゼネカ株式会社
東京都千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館
コーポレートアフェアーズ統括部 白井、東
JPN.Ex.Comm@astrazeneca.com
Tel: 070-2272-8112 / 080-6198-5314

AstraZeneca PLC 2020 年上半期業績

パンデミック下においても堅調な業績:新型コロナウイルス感染症との闘いのリーダー

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的なパンデミック下においても、アストラゼネカの優先事項はこれまでと変わらず、何百万人という患者さんに対して医薬品を安全に供給することです。本上半期、売上、利益ならびにキャッシュフローが引き続き成長しました。この業績は、複数の新薬¹の上市成功およびパイプラインの有望な進捗によるものです。アストラゼネカは、イノベーションを通じた成長に引き続き注力していきます。

最高経営責任者（CEO）パスカル・ソリオの業績に関するコメント：

「本年上半期に達成した堅調な業績、売上の更なる成長、収益性およびキャッシュフロー創出の向上を含む堅調な業績をもたらした世界中の社員の尽力に謝意を表します。特に、新興市場での強固な成長と複数の新薬の成功に対し喜ばしく思います。タグリツンが ADAURA 試験において顕著な有効性を示し、フォシーガもその可能性を糖尿病以外にも広げるなど、パイプラインも更なる進捗を果たしました。また、当社の台頭するオンコロジーのポートフォリオを強化する、第一三共株式会社との DS-1062 に関する新たな提携についても嬉しく思います。

またアストラゼネカは、COVID-19 に対する様々な重要施策を始動しました。AZD1222 の 20 億回以上の製造能力を構築し、モノクローナル抗体の開発を加速するとともに、COVID-19 に感染した患者さんの治療薬としての Calquence（アカラブルチニブ）およびフォシーガの使用を検討する複数の新たな試験を開始しました。

今後については、四半期ごとの業績変動を引き続き予想しつつも、事業戦略の継続による当社の将来性を確信しています。当社は商業化の実行と複数の新薬を含む非常に有望なパイプラインへの注力に基づく通年ガイダンスを保持します」。

2020 年上半期財務業績

Table 1 : 財務サマリー

	2020 年上半期			2020 年第 2 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER ²		実質	CER
総売上高	12,629	12	14	6,275	8	11
製品売上	12,359	11	13	6,048	6	9
提携収入	270	n/m ³	n/m	227	n/m	n/m
報告ベース ⁴ 1 株当たり利益 (EPS) ⁵	\$1.17	n/m	n/m	\$0.58	n/m	n/m
中核 ⁶ EPS	\$2.01	24	26	\$0.96	32	31

継続する COVID-19 パンデミックの影響を反映し、本年上半期中、総売上高への在庫関連のプラス影響は軽微でした。

上半期の総売上高は 12%増 (CER ベースでは 14%増) の 126 億 2,900 万ドルで、3 つの治療領域⁷ および全地域において総売上高が伸長しました。ハイライトとして下記が挙げられます：

- 新薬の業績は、42%増 (CER ベースでは 45%増) の 63 億 5,300 万ドルでした。これには 71% 増 (CER ベースでは 79%増) であった新興市場での新薬の売上 14 億 600 万ドルを含みます。これら新薬は全世界の総売上高の 50%を占めました (2019 上半期：40%)。
- 全治療領域で総売上高が伸長：オンコロジー領域では 28%増 (CER ベースでは 31%増) の 53 億 2,400 万ドル、New CVRM 領域⁸ では 8%増 (CER ベースでは 11%増) の 22 億 6,500 万ドル、呼吸器・免疫領域では 5%増 (CER ベースでは 7%増) の 26 億 7,600 万ドル。第 2 四半期、中国でのパルミコート⁹ の売上に対する COVID-19 の影響を反映し、呼吸器・免疫領域の総売上高は 11%減 (CER ベースでは 8%減) の 11 億 2,200 万ドルでした。
- 全地域で総売上高が増加：新興市場では 9%増加 (CER ベースでは 15%増) し 43 億 2,900 万ドル、うち中国の総売上高は 10%増加 (CER ベースでは 14%増) し 26 億 5,900 万ドルでした。中国の第 2 四半期の総売上高は 7%増 (CER ベースでは 12%増) の 12 億 4,300 万ドル。本上半期、米国の総売上高は 13%増の 41 億 7,700 万ドル、ヨーロッパの総売上高は 17%増 (CER ベースでは 20%増) の 24 億 4,700 万ドルでした。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)

前回の 2020 年第 1 四半期の業績発表において列挙した数々の取り組みに加え、当社は SARS-CoV-2 ウイルスを標的とし、過剰免疫反応により生ずる高サイトカイン血症 (サイトカインストーム⁹) を低減し、臓器障害を抑制する新しい方法を検討する研究を始動しました。COVID-19 に関するアストラゼネカの最新情報は、[こちら](#)からご覧ください。

アストラゼネカは、本パンデミック中、営利を目的としないワクチンの広範かつ公平な世界的供給を優先事項としており、この詳細は本発表文のサステナビリティ (持続可能性) の項に記載されています。2020 年 7 月、オックスフォード大学が主導する進行中の第 I / II 相 COV001 試験の結果が [The Lancet](#) に掲載され、遺伝子組み換えアデノウイルスワクチン AZD1222 (ChAdOx1 nCoV-19) が被験者において、その忍容性が確認されるとともに SARS-CoV ウイルスに対する強固な免疫反応を示しました。現在、後期臨床試験が英国、ブラジルおよび南アフリカで実施されており、米国でも開始される予定です。これらの試験は、本ワクチンの COVID-19 からの防御

効果の程度を検証し、さまざまな年齢範囲およびさまざまな用量における安全性と免疫反応を評価します。

ガイダンス

当社は 2020 年度のガイダンスを下記に関し CER ベースで提供します：

- 製品売上および提携収入により構成される総売上高
- 中核 EPS

本ガイダンスは、提携収入の性質の変化および戦略的影響の増大を反映しています。提携収入は、いずれ主に下記の既存提携による収入からなることが想定されます。

- 第一三共株式会社（以下、第一三共）により計上されている複数の市場における *Enhertu*（トラスツズマブ デルクステカン）の売上により派生する総利益の持ち分
- FibroGen Inc.（以下、FibroGen¹⁰）により計上されている中国の roxadustat の売上により派生する総利益の持ち分
- リムパーザに関する MSD¹¹ との提携によるマイルストーン収入
- 上記より低額となる他の既存医薬品および開発中の医薬品のマイルストーンおよびロイヤリティ収入

2020 年度の財務ガイダンスに変更はありません。総売上高は 1 桁台後半から 2 桁台前半のパーセンテージで増加することが予想され、中核 EPS は 10%台半ばから後半程度増加することが予想されます。

アストラゼネカは本発表文において後述される COVID-19 の影響によるリスクおよび不確実性の増大を想定しています。四半期毎の業績変動は継続すると予想されます。

当社は買収関連債務により生じる公正価格調整、無形資産減損費用および訴訟和解引当金を含む報告ベースの結果の重要な要素を正確に予測することはできませんので、報告ベースのガイダンスならびに指標を提供することはできません。英語原文発表文書の末尾にある「将来予想に関する記述についての注意事項」をご参照ください。

指標

当社は 2020 年度の指標を CER ベースで提供します。

- 当社は営業レバレッジの改善に注力しています。
- 中核税率は 18~22%。四半期ごとの中核税率の変動は継続すると予想されます。
- 資本支出は対前年度比概ね安定すると予想されます。

為替の影響

外国為替レートが 2020 年 7 月から 12 月までの期間、本上半期の平均為替レートの水準にあれば、総売上高および中核 EPS に対して 1 桁台前半のマイナス影響が予想されます。当社の外国為替レート感度分析は英語原文発表にある営業・ファイナンシャルレビューの項に含まれています。

財務サマリー

- 製品売上と提携収入により構成される総売上高は本上半期 12%増 (CER ベースでは 14%増) の 126 億 2,900 万ドル。製品売上は、主に新興市場とオンコロジー領域の業績にけん引され、11%増 (CER ベースでは 13%増) の 123 億 5,900 万ドル。
- 報告ベースおよび中核総利益率¹²は、変動なく 81%。中核売上総利益率は、一部グループ在庫に関する単発の調整、リムパーザに関する MSD との提携の利益配分率の増加を反映し、CER ベースで 1%減少しました。中核売上総利益率は第 2 四半期 2 パーセント増 (CER ベースでは 1%増) の 84%。この増加は製品売上の構成と製造の効率化を反映しています。本上半期の報告ベース総営業費用は、1%増 (CER ベースでは 3%増) の 83 億 2,200 万ドルで、総売上高の 66%を占めました (2019 年上半期は 73%)。中核総営業費用は 5%増 (CER ベースでは 7%増) の 72 億 5,600 万ドルで、総売上高の 57%を占めました (2019 年上半期は 61%)。これらの増加はパイプラインへの投資を一部反映しており、Enhertu の開発への投資および上記 MSD との提携に基づくリムパーザの開発に関する契約一時金の解除が 2019 年に終了したことを含みます。中核研究開発費は 8%増加 (CER ベースでは 9%増) して 27 億 1,200 万ドル。また、中核総営業費用の増加はオンコロジー領域の新薬上市および中国におけるアストラゼネカの更なる事業拡大にかかわる販売一般管理費の増加にも起因するものです。中核販売一般管理費は上期 2%増加 (CER ベースでは 5%増) して 43 億 5,300 万ドル。
- 本上半期の報告ベース営業利益率は 6 ポイント増の 20%。中核営業利益率は 2 ポイント増の 29%。
- 報告ベース EPS は 108%増加 (CER ベースでは 106%増) し 1.17 ドル。中核 EPS は 24%増 (CER ベースでは 26%増) の 2.01 ドル。これは、加重平均株式数の 13 億 1,200 万株への増加にも関わらず達成されました (2019 年上半期は 12 億 8,900 万株)。
- 本上半期の営業活動による正味キャッシュインフロー 11 億 7,900 万ドルは対前年度比 6 億 8,800 万ドル増加しましたが、これは報告ベース営業利益が 9 億 1,400 万ドル改善し 25 億 400 万ドルとなったことを反映しています。
- 1 株当たり 0.09 ドルの初回中間配当に変更はありません。

営業サマリー

オンコロジー領域

本上半期の総売上高は 28%増加（CER ベースでは 31%増）し、53 億 2,400 万ドルを達成

Table 2 : オンコロジー領域製品の売上（抜粋）

	2020 年上半期			2020 年第 2 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
タグリッソ：製品売上	2,016	43	45	1,034	32	35
イミフィンジ：製品売上	954	51	52	492	46	48
リムパーザ：製品売上	816	57	60	419	48	52
Calquence：製品売上	195	n/m	n/m	107	n/m	n/m
Enhertu：提携収入	36	n/m	n/m	22	n/m	n/m

New CVRM 領域

本上半期の総売上高は 8%増加（CER ベースでは 11%増）し 22 億 6,500 万ドルを達成

Table 3 : New CVRM 領域製品の売上（抜粋）

	2020 年上半期			2020 年第 2 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
フォシーガ：製品売上	848	17	21	443	17	23
ブリリンタ：製品売上	845	15	17	437	12	16
ビデュリオン：製品売上	216	(24)	(23)	116	(18)	(17)
ロケルマ：製品売上	28	n/m	n/m	17	n/m	n/m
roxadustat：提携収入	11	n/m	n/m	9	n/m	n/m

呼吸器・免疫領域

本上半期の総売上高は5%増加（CER ベースでは7%増）し、26億7,600万ドルを達成

Table 4 : 呼吸器・免疫領域製品の売上（抜粋）

	2020 年上半期			2020 年第 2 四半期		
	100 万ドル	増減 (%)		100 万ドル	増減 (%)	
		実質	CER		実質	CER
シムビコート: 製品売上	1,442	23	26	653	12	15
パルミコート: 製品売上	477	(33)	(32)	97	(71)	(69)
ファセンラ: 製品売上	426	44	45	227	36	37

本上半期、中国での売上が大部分を占めるパルミコートの売上は、COVID-19 によるマイナス影響を受けました。新興市場におけるパルミコートの売上は、本上半期では36%減（CER ベースでは34%減）の3億7,100万ドル、第2四半期では78%減（CER ベースでは76%減）の5,800万ドルでした。

新興市場

当社の総売上高の34%を占め、売上最大地域である新興市場での下記を含む本上半期総売上高は、9%増（CER ベースでは15%増）の43億2,900万ドルでした。

- 本上半期、中国の総売上高は10%増（CER ベースでは14%増）の26億5,900万ドル。本業績は、前述の COVID-19 によるパルミコートへのマイナス影響を反映しています。第2四半期の総売上高は7%増（CER ベースでは12%増）の12億4,300万ドル。
- 本上半期、中国以外の総売上高は8%増の16億7,100万ドル（CER ベースでは15%増）。2020年第2四半期の総売上高は4%増の8億1,300万ドル（CER ベースでは15%増）。

サステナビリティ（持続可能性）概要

当社のサステナビリティ優先事項に関する最近の動向および進捗を下記に報告します。

a) 医療アクセス

本上半期、アストラゼネカはオックスフォード大学の COVID-19 ワクチン AZD1222 への広く公平な世界的アクセスの公約の実現に向けて前進しました。本ワクチンの開発、製造、および提供

に関して、米生物医学先端研究開発局（BARDA）との主要契約を締結するとともに、英国政府、欧州の Inclusive Vaccines Alliance（包括的ワクチン同盟）、Coalition for Epidemic Preparedness（CEPI：感染症流行対策イノベーション連合）、Gavi, The Vaccine Alliance（GAVI）とも契約を締結しました。加えて、当社はインドの Serum Institute of India（SII）と低・中所得国へのワクチン供給に関するライセンス契約を、ロシアの R-Pharm および大韓民国の SK Biopharmaceuticals Co., Ltd.と製造・輸出に関する契約を締結しました。

b) 環境保護

アストラゼネカ CEO であるパスカル・ソリオは、各国政府に対し、自国の COVID-19 関連の経済援助政策や復旧政策が国連グローバル・コンパクト（UNGC）が 2020 年 5 月に[発表](#)した最新の気候サイエンスに沿うことを求める[文書](#)に署名した [Science Based Targets](#) 加盟企業のリーダー 176 名¹³の一人です。

c) 倫理と透明性

当社のインクルージョン&ダイバーシティへの継続的な注力を反映すべく、アストラゼネカは DiversityInc による 2020 年[ダイバーシティ企業ランキングの上位 50 社](#)の 1 社として選出されました。また、当社は DiversityInc により、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアルおよびトランスジェンダー（LGBT）を含む性的マイノリティ社員への対応におけるトップ企業として選出されました。

注：

下記の注釈は 1 ページから 7 ページまでにに関するものです。

1. タグリッツ、イミフィンジ、リムパーザ、Calquence、Enhertu、フォシーガ、ブリリンタ、ロケルマ、roxadustat、ファセンラ、ビベスピおよびビレーズトリ。これらの新薬はオンコロジー、循環器・腎・代謝（CVRM）および呼吸器・自己免疫の 3 つの治療領域の柱であるとともに今後の成長の重要な基盤です。Enhertu および roxadustat の上半期の総売上高は既存の提携収入の全部を反映しています。
2. Constant exchange rates（恒常為替レート）：これらは報告ベースの結果から為替変動の影響を除外しているため一般に公正妥当と認められている会計原則（GAAP）とは異なる指標です。
3. not meaningful（非適用）
4. 報告ベースの財務指標は欧州連合により採用され、国際会計基準審議会により発行された国際会計基準に準拠して提示された財務業績です。英国は未だ IFRS 承認プロセス発表しておらず、暫くの間欧州連合の承認プロセスに引き続き従うことが予想されます。

5. 1株当たり利益
6. 中核財務指標：これらは報告ベースの業績とは異なり、グループの Interim Financial Statements（中間財務諸表）にある情報から直接算出できないため GAAP とは異なる指標です。中核財務指標および中核ベースから報告ベースへの財務指標の調整の定義は、英語原文の営業・ファイナンシャルレビューを参照ください。
7. 3つの治療用域の定義はオンコロジー、New CVRM（循環器・腎・代謝疾患）および呼吸器・免疫
8. New CVRM 領域はブリリントおよび腎臓病・糖尿病治療薬により構成されます。
9. 体が血中に過剰なサイトカインを過剰な速度で放出する状態が重度免疫反応です。サイトカインは先天性免疫応答と適応免疫応答における情報伝達を助ける細胞にシグナルを送るタンパク質で、炎症および注射部位へ細胞の動きを指摘します。
10. FibroGen とアストラゼネカは、米国、中国および他の世界市場において roxadustat の開発および商業化において協力しています。FibroGen とアステラス製薬株式会社（アステラス）は日本、ヨーロッパ、独立国家共同体、中東および南アフリカを含む地域において roxadustat の開発および商業化において協力しています。
11. 米国ニュージャージー州ケニワースを拠点とする Merck & Co., Inc.は米国とカナダ以外では MSD として知られています。
12. 売上総利益は総売上高から売上原価を差し引いた金額と定義されます。報告ベースおよび中核売上総利益は提携収入および全ての関連費用の影響を控除しているため、製品売上の本来の業績を反映しています
13. 2020年7月1日時点

Table 5 : パイプラインハイライト

下記の表は前回の業績発表以降の、後期段階パイプラインの重要な展開を示すものです。

<p>薬事承認</p>	<ul style="list-style-type: none"> - リムパーザ – 卵巣がん（1次治療, HRD+¹⁴）（PAOLA-1試験）（米国） - リムパーザ – 膵がん（1次治療, BRCAm¹⁵）（EU） - リムパーザ – 前立腺がん（2次治療, HRRm¹⁶）（米国） - フォシーガ – HF¹⁷ CVOT¹⁸（米国） - ブリリンタ – CAD¹⁹/T2D²⁰ CVOT（米国） - ビベスピ^o – COPD²¹（中国） - ビレーズトリ – COPD（米国）
<p>薬事承認申請および・または受理</p>	<ul style="list-style-type: none"> - <i>Enhertu</i> – 乳がん（3次治療, HER2+²²）（EU） - <i>Enhertu</i> – 胃がん（3次治療, HER2+）（日本） - ブリリンタ/<i>Brilique</i> – 脳卒中（THALES試験）（米国, EU）
<p>主な第 III 相データ readouts またはその他の主な展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> - イミフィンジ – ES²³-SCLC²⁴ : 肯定的見解（EU） - <i>Enhertu</i> – 乳がん（3次治療, HER2+）: 迅速審査（EU） - <i>Enhertu</i> – 胃がん（HER2+）: 希少疾病治療薬指定, 画期的治療薬指定（米国） - <i>Enhertu</i> – NSCLC²⁵（2次治療, HER2m²⁶）: 画期的治療薬指定（米国） - <i>Calquence</i> – CLL²⁷ 肯定的見解（EU） - セルメチニブ - NF1²⁸ : 希少疾病治療薬指定（日本） - フォシーガ – CKD²⁹ : 主要および全ての評価項目達成 - ブリリンタ – 脳卒中（THALES試験）: 優先審査（米国）

¹⁴ 相同組み換え欠損陽性

¹⁵ 乳がん感受性遺伝子 1/2 変異

¹⁶ 相同組み換え修復変異

¹⁷ 心不全

- 18 心血管アウトカム試験
- 19 冠状動脈疾患
- 20 2 型糖尿病
- 21 慢性閉塞性肺疾患
- 22 ヒト上皮成長因子受容体 2 陽性
- 23 進展型
- 24 小細胞肺がん
- 25 非小細胞肺がん
- 26 HER2 変異
- 27 慢性リンパ球性白血病
- 28 神経線維腫症 1 型：皮膚、脳およびその他の体の部位で腫瘍の神経に沿った増殖を引き起こす遺伝子疾患
- 29 慢性腎臓病

Table 6: パイプライン：想定されている主なニュース

イノベーションはアンメット・メディカルニーズへの対応に不可欠であり、当社の成長戦略の中心です。研究開発への集中はパイプラインの強い結果を生み出すことを目的としています。

時期	ニュース配信
	<ul style="list-style-type: none"> - タグリッソ - NSCLC 術後補助療法 (EGFRm³⁰) : 薬事承認申請 - イミフィンジ – 切除不能³¹, ステージ III NSCLC (PACIFIC-2 試験) : データ readout - イミフィンジ - ES-SCLC: 薬事承認申請 (EU, 日本) - イミフィンジ +/- tremelimumab³² - 肝がん (1 次治療) : データ readout, 薬事承認申請 - リムパーザ – 卵巣がん (1 次治療) (PAOLA-1 試験) : 規制当局判断 (EU, 日本) - リムパーザ – 卵巣がん (3 次治療, BRCAm) : 薬事承認申請 - リムパーザ – 卵巣がん (BRCAm) : 規制当局判断 (中国) - リムパーザ – 前立腺がん (2 次治療) : 規制当局判断 (EU) - Enhertu – 乳がん (3 次治療, HER2+) : 規制当局判断 (EU) - Enhertu – 胃がん (3 次治療, HER2+) : 規制当局判断 (日本) - Calquence – CLL : 規制当局判断 (EU)
2020 年 下半期	<ul style="list-style-type: none"> - フォシーガ - T2D CVOT : 規制当局判断 (中国) - フォシーガ - HF CVOT: 規制当局判断 (EU, 日本) - フォシーガ – CKD : 薬事承認申請 - ブリリンタ – 脳卒中 (THALES 試験) : 薬事承認申請 (米国) - ブリリンタ – 脳卒中 (THALES 試験) : 薬事承認申請 (中国) - roxadustat - CKD に伴う貧血 : 薬事承認申請 (米国) - シムビコート – 軽症喘息: 薬事承認申請 (中国) - シムビコート - 軽症喘息: 薬事承認申請 (EU) - ファセンラ - 鼻茸³³ : データ readout - PT010 – COPD : 薬事承認申請 (EU) - tezepelumab – 重症喘息 : データ readout - anifrolumab – 全身性エリテマトーデス (SLE³⁴) : 薬事承認申請 - AZD1222 - SARS-CoV-2 : データ readout, 薬事承認申請

時期	ニュース配信
2021 年 上半期	<ul style="list-style-type: none"> - イミフィンジ – 切除不能, ステージ III NSCLC (PACIFIC-2 試験) : 薬事承認申請 - イミフィンジ – NSCLC (1 次治療) (PEARL 試験) : データ readout - イミフィンジ +/- tremelimumab – 頭頸部がん (1 次治療) : データ readout, 薬事承認申請 - リムパーザ – 膀胱がん (1 次治療, BRCAm) : 薬事承認申請 (日本) - リムパーザ – 前立腺がん (2 次治療) : 薬事承認申請 (日本) - リムパーザ – 乳がん術後補助療法 : データ readout - Calquence - CLL: 薬事承認申請 (日本) - Koselugo - NF1 規制当局判断 (EU) - フォシーガ - HF CVOT: 規制当局判断 (中国) - Brilique / ブリリンタ - CAD/T2D CVOT: 規制当局判断 (EU, 日本、中国) - Brilique – 脳卒中 (THALES 試験) : 規制当局判断 (EU) - ファセンラ - 鼻茸 : 薬事承認申請 - tezepelumab – 重症喘息 : 薬事承認申請
2021 年 下半期	<ul style="list-style-type: none"> - イミフィンジ- NSCLC (1 次治療) (PEARL 試験) : 薬事承認申請 - イミフィンジ - 膀胱がん術後補助療法: データ readout - イミフィンジ - 肝がん (locoregiona) : データ readout, 薬事承認申請 - イミフィンジ - biliary 胆道がん: データ readout - イミフィンジ +/- tremelimumab – NSCLC (1 次治療) (POSEIDON 試験) : データ readout (OS) , 薬事承認申請 - リムパーザ – 乳がん術後補助療法: 薬事承認申請 - リムパーザ – 前立腺がん (1 次治療, 去勢抵抗性) : データ readout, 薬事承認申請 - Enhertu – 乳がん (3 次治療, HER2+) (第 III 相) : データ readout - Enhertu – 乳がん (2 次治療, HER2+) : データ readout, 薬事承認申請 - Enhertu – 乳がん (低 HER2³⁵) : データ readout - Calquence – CLL (2 次治療) (ELEVATE R/R 試験) : データ readout, 薬事承認申請 - フォシーガ – HF (HFpEF³⁶): データ readout, 薬事承認申請 - PT027 – 喘息: データ readout, 薬事承認申請

³⁰ 上皮成長因子受容体変異陽性

³¹ 外科手術で腫瘍を完全に切除できない

³² Tremelimumab : トレメリムマブ

³³ 鼻腔内の無痛の良性腫瘍（鼻茸または鼻ポリープ）

³⁴ 全身性エリテマトーデス : 体内の結合組織に炎症を起こす慢性自己免疫疾患

³⁵ HER2 免疫組織化学 1 陽性または 2 陽性かつ FISH 法（蛍光 in situ ハイブリダイゼーション）検査陰性

³⁶ 左室駆出率が保持された心不全

Table 7 : 2020 年上半期 治療領域別製品売上

製品売上：治療領域	製品	2020 年上半期			
		100 万 ドル	対製品売上 合計 (%)	増減 (%) 実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	2,016	16	43	45
	イミフィンジ	954	8	51	52
	リムパーザ	816	7	57	60
	Calquence	195	2	n/m	n/m
	Koselugo	7	-	n/m	n/m
	ゾラデックス	442	4	13	18
	フェソロデックス	312	3	(40)	(38)
	イレッサ	147	1	(42)	(40)
	アリミデックス	107	1	(3)	-
	カンデックス	89	1	(15)	(13)
	その他	26	-	(50)	(47)
	オンコロジー合計	5,111	41	26	28
バイオ医薬品： CVRM	フォシーガ	848	7	17	21
	ブリリンタ	845	7	15	17
	Onglyza	256	2	(5)	(3)
	ビデュリオン	216	2	(24)	(23)
	バイエッタ	35	-	(36)	(35)
	その他糖尿病	23	-	3	6
	ロケルマ	28	-	n/m	n/m
	クレストール	582	5	(10)	(8)
	セロケン/Toprol-XL	395	3	-	6
	Atakand	126	1	19	25
	その他	106	1	(20)	(18)
バイオ医薬品：CVRM 合計	3,460	28	3	6	
バイオ医薬品：呼吸器	シムビコート	1,442	12	23	26
	パルミコート	477	4	(33)	(32)

製品売上：治療領域	製品	2020 年上半期			
		100 万 ドル	対製品売上 合計 (%)	増減 (%) 実質	CER
	ファセンラ	426	3	44	45
	Dalirespl/Daxas	106	1	1	2
	ビベスピ [®]	22	-	10	10
	ビレーズトリ	11	-	n/m	n/m
	その他	184	1	(20)	(18)
	バイオ医薬品：呼吸器合計	2,668	22	5	7
その他製品	ネキシウム	714	6	(5)	(3)
	シナジス	176	1	18	18
	Losec/PriLOSEC/ オメプラール	99	1	(32)	(30)
	セロクエル XR/IR	63	1	(9)	(8)
	その他	68	1	(32)	(31)
	その他製品合計	1,120	9	(8)	(6)
	製品売上合計	12,359	100	11	13
	提携収入合計	270		n/m	n/m
	総売上高	12,629		12	14

Table 8 : 2020 年第 2 四半期 治療領域別製品売上

製品売上：治療領域	製品	2020 年第 2 四半期			
		100 万 ドル	対製品売上 合計 (%)	増減 (%) 実質	CER
オンコロジー	タグリッソ	1,034	17	32	35
	イミフィンジ	492	8	46	48
	リムパーザ	419	7	48	52
	Calquence	107	2	n/m	n/m
	Koselugo	7	-	n/m	n/m
	ゾラデックス	217	4	10	17
	フェソロデックス	146	2	(45)	(43)
	イレッサ	70	1	(41)	(38)
	アリミデックス	58	1	(4)	-
	カンデックス	47	1	(17)	(15)
	その他	12	-	(59)	(55)
	オンコロジー合計	2,609	43	20	24
バイオ医薬品：CVRM	フォシーガ	443	7	17	23
	ブリリンタ	437	7	12	16
	Onglyza	115	2	(1)	3
	ビデュリオン	116	2	(18)	(17)
	バイエッタ	15	-	(42)	(41)
	その他糖尿病	10	-	(9)	(5)
	ロケルマ	17	-	n/m	n/m
	クレストール	281	5	(10)	(6)
	セロケン/Toprol-XL	218	4	29	38
	Atakand	59	1	6	14
	その他	48	1	(23)	(20)
バイオ医薬品： CVRM 合計	1,759	29	6	10	
バイオ医薬品： 呼吸器	シムビコート	653	11	12	15
	パルミコート	97	2	(71)	(69)

製品売上：治療領域	製品	2020年第2四半期			
		100万 ドル	対製品売上 合計 (%)	増減 (%) 実質 CER	
	ファセンラ	227	4	36	37
	Dalirespl/Daxas	53	1	(7)	(7)
	ビベスピ [®]	10	-	(1)	(3)
	ビレーズトリ	7	-	n/m	n/m
	その他	70	1	(30)	(28)
	バイオ医薬品: 呼吸器合計	1,117	18	(11)	(8)
その他製品	ネキシウム	377	6	(4)	(1)
	シナジス	90	1	(5)	(5)
	Losec/Prilosec/ オメプラール	45	1	(34)	(31)
	セロクエル XR/IR	27	-	(16)	(14)
	その他	24	-	(53)	(52)
	その他製品合計	563	9	(12)	(10)
	製品売上合計	6,048	100	6	9
	提携収入合計	227		n/m	n/m
	総売上高	6,275		8	11

総売上高サマリー

● オンコロジー領域

本上半期の総売上高は28%増加（CERベースでは31%増）し、53億2,400万ドルを達成。これには、リムパーザの提携収入1億3,500万ドルが含まれています。Enhertuの全業績も、提携収入に反映されました。

オンコロジー領域の総売上高は、総売上高合計の42%を占めました（2019年上半期：37%）。

タグリツソ

タグリツソは米国、中国、EU諸国および日本を含む86カ国で上皮成長因子受容体変異陽性非小

細胞肺がん（EGFRm NSCLC）の1次治療として薬事承認を取得しました。現在までに、同疾患を適応症として28カ国で保険償還が認められており、2020年下半期にはさらなる保険償還に関する承認が予想されています。これは、米国、中国、EU諸国および日本を含む89カ国におけるEGFR T790M³⁵変異陽性NSCLCの治療薬としてのタグリツンの最初の承認に続くものでした。

本上半期、全製品売上による総売上高は43%増加（CERベースでは45%増）し、20億1,600万ドルに達しました。これは、前述の1次治療としての薬事承認および保険償還により一部けん引されました。2次治療としても、例えばヨーロッパや新興市場などで引き続き成長しました。本上半期、米国の総売上高は第2四半期のマイナスの在庫変動にも関わらず30%伸長し、7億2,500万ドルでした。タグリツンは1次治療の標準治療（SoC）としての地位を保持したため、需要の増加が継続しました。

新興市場において、タグリツンの総売上高は本上半期81%増（CERベースでは89%増）の5億9,500万ドルに達し、特に中国では、2019年の国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）への2次治療の掲載後、顕著な成長を実現しました。タグリツンの日本の総売上高は17%増（CERベースでは16%増）の3億4,000万ドルでした。ヨーロッパの総売上高は本上半期53%増（CERベースでは58%増）の3億2,500万ドルに達しました。この業績は、より多くの国々が保険償還を認めたことによる1次治療での使用の増加によりけん引されました。

イミフィンジ

イミフィンジは米国、中国、EU諸国および日本を含む62カ国でプラチナ製剤ベースの化学・放射線療法（CRT）による治療後、病勢進行がみられない切除不能、ステージIII非小細胞肺がん患者さんの治療薬として薬事承認を取得しています。保険償還契約の件数は本上半期27件に増加しました。また、本上半期中、イミフィンジは米国を含む8カ国で進展型小細胞肺がん（ES-SCLC）患者さんの治療薬として承認されました。また、同剤は米国を含む17カ国で局所進行または転移性の尿路上皮がん（膀胱がん）患者さんの2次治療としても承認されています。

全てが製品売上からなるイミフィンジの総売上高は、本上半期9億5,400万ドルに達し、51%（CERベースでは52%）の成長を遂げており、大部分は切除不能ステージIII非小細胞肺がんの治療に使用されています。米国での総売上高は21%増の5億7,400万ドルでした。日本での総売上は44%増加（CERベースでは43%増）し、1億2,400万ドルに達しました。ヨーロッパの売上は179%増（CERベースでは188%増）の1億6,700万ドルでしたが、これは保険償還を認めた国の増加を反映しています。一方、最近の複数の薬事承認および上市を受け、新興市場の売上は428%増加（CERベースでは459%増）し6,300万ドルでした。

リムパーザ

リムパーザは卵巣がんの治療薬として 75 カ国、転移性乳がんの治療薬として 67 カ国で承認されており、隣がん治療薬としては、米国を含む 38 カ国において承認されています。さらには、米国で相同組み換え修復関連遺伝子変異陽性 (HRRm) 前立腺がんの 2 次治療としても薬事承認を取得しています。

本上半期、リムパーザの総売上高は、64%増加 (CER ベースでは 66%増) し、9 億 5,100 万ドルに達しました。本上半期、薬事マイルストーンの支払いを受けたことを反映し、リムパーザの提携収入として 1 億 3,500 万ドルが計上されました。堅調な業績は地理的に広範にわたり、新興市場およびその他既成市場 (RoW) での上市が継続中です。

米国の売上は、2018 年末の BRCA 変異陽性卵巣がんの 1 次治療としての上市にけん引され、55%増加しました。卵巣がんおよび乳がんの総処方量ベースで、リムパーザは、米国のポリ (ADP-リボース) ポリメラーゼ (PARP) 阻害剤クラスのトップ製品としての地位を維持しました。保険償還と BRCA 検査率の水準が伸びていること、および、英国とドイツをはじめとする卵巣がんの 1 次治療を適応症とした最近の上市にけん引され、ヨーロッパの売上は 51%増 (CER ベースでは 56%増) の 1 億 9,800 万ドルに達しました。

新興市場の売上は、104%増加 (CER ベースでは 117%増) し 1 億 2,000 万ドルとなり、これは 2019 年の中国の国家薬品监督管理局 (NMPA) による卵巣がんの 1 次治療後の維持療法としてのリムパーザの薬事承認を反映する結果です。リムパーザは同適応で中国の国家医療保険償還医薬品リスト (NRDL) に 2020 年 1 月付で収載されました。

Enhertu

第一三共により計上された全世界の売上は 7,700 万ドルでした。これは、Enhertu が 2020 年初頭に発売され、第一三共が売り上げを計上する米国での売上が大部分を占めています。Enhertu は、2019 年末に米国食品医薬品局 (FDA) により、HER2 変異陽性乳がんの 3 次治療として承認されました。本上半期、全てがアストラゼネカにより計上された提携収入からなる総売上高は、本上半期 3,600 万ドルでした。

Calquence

全て製品売上からなる総売上高は、本上半期 204%増加 (CER ベースでは 205%増) して 1 億 9,500 万ドルに達し、その売上の大部分は米国で達成されました。Calquence は、慢性リンパ球性白血病 (CLL) および小リンパ球性リンパ腫 (SLL) の治療薬として米国食品医薬品局 (FDA) により 2019 年 11 月に承認され、同疾患を適応症としてさらに 12 カ国において承認を取得しました。

た。Calquence はマンツル細胞リンパ腫の治療薬として 17 カ国において薬事承認を取得しています。

Koselugo

米国での発売後、全て米国での製品売上からなる本上半期の総売上高は 7,000 万ドルに達しました。Koselugo は、症候性の手術不能な叢状神経線維症を有する 2 歳以上の小児の神経線維腫症 1 型 (NF1) の治療薬として米国食品医薬品局 (FDA) により承認されました。

従来製品：ゾラデックス

大部分が製品売上からなる総売上高は本上半期 22%増 (CER ベースでは 27%増) の 4 億 8,400 万ドルに達しました。

ゾラデックスの新興市場での売上は、前立腺がんでの使用やアクセスが増加したことを反映し、22%増の 2 億 8,800 万ドル (CER ベースで 29%増) でした。ヨーロッパの売上は 5%増 (CER ベースでは 8%増) の 6,800 万ドル。その他既成市場 (RoW) 地域では、競合激化の影響により、売上は 7%減 (CER ベースでは 6%減) の 8,100 万ドルとなりました。

従来製品：フェソロデックス

全て製品売上からなる総売上高は本上半期 40%減 (CER ベースでは 38%減) の 3 億 1,200 万ドルでした。

フェソロデックスの新興市場の売上は 4%増 (CER ベースで 10%増) の 1 億ドルに達しました。しかし、米国の売上は、2019 年の複数のフェソロデックス後発品の発売を反映し、87%減の 3,400 万ドルでした。後発競合品が確立されているヨーロッパでは、売上は 6%増加 (CER ベースでは 9%増) して 1 億 1,600 万ドルに達したものの、日本の売上は、第 2 四半期の公的価格の切り下げにより、5%減 (CER ベースで 7%減) の 5,800 万ドルでした。

従来製品：イレッサ

全て製品売上からなる総売上高は本上半期 42%減 (CER ベースでは 40%減) の 1 億 4,700 万ドルでした。新興市場の売上は 27%減少 (CER ベースで 24%減) し 1 億 2,000 万ドルでしたが、これは イレッサが中国の数量ベース調達プログラムに含まれていることによる影響を反映しています。

● バイオフーマ : CVRM 領域

総売上高は本上半期 3%増 (CER ベースでは 6%増) の 34 億 7,800 万ドルに達し、総売上高合計の 28%を占めました (2019 年上半期 : 30%)。この業績には roxadustat の既存提携収入 1,100 万ドルと、クレストールおよび他の複数の従来製品の売上が含まれます。

クレストールとその他の複数の従来製品の売上を除いた New CVRM の本上半期の総売上高は、フォシーガとブリリンタの業績を反映し、本上半期 8%増加 (CER ベースでは 11%増) し 22 億 6,500 万ドルに達しました。New CVRM の総売上高は本上半期 CVRM 全体の総売上の 65%を占めました (2019 年上半期 : 62%)。

フォシーガ

大部分が製品売上からなる総売上高は本上半期 17%増加 (CER ベースでは 21%増) して 8 億 500 万ドルに達しました。

新興市場の売上は、49%増 (CER ベースで 59%増) の 3 億 600 万ドルでした。中国ではフォシーガが 2020 年初頭より国家医療保険償還医薬品リスト (NRDL) に掲載されました。予想していた通り、これにより本製品の価格がマイナス影響を受けました。しかし、NRDL 掲載による数量面でのプラス効果がこのマイナス影響を上回りました。また、この業績はジペプチジルペプチダーゼ 4 (DPP-4) 阻害剤クラスに取って代わったナトリウム・グルコース共輸送体 2 (SGLT2) 阻害剤クラスの成長も反映しています。

米国の売上は 12%減の 2 億 3,700 万ドルでした。この売上減は、有望な数量ベースの成長を競合激化による価格への影響や売り上げ構成のマイナス影響が上回ったことを反映しています。しかし、DECLARE CVOT 試験結果を反映した 2019 年第 3 四半期の添付文書改訂や最近の左室駆出率が低下した心不全への適応拡大の結果として、新規処方へのシェアにおける好ましい動きもありました。

ヨーロッパの売上は、一部 SGLT-2 クラスの成長および同様の DECLARE による添付文書改訂後の新規処方の加速を反映し、25%増 (CER ベースでは 29%増) の 2 億 2,300 万ドルに達しました。

ブリリンタ

本上半期、全てが製品売上による総売上高は 8 億 4,500 万ドルに達し、15%増 (CER ベースでは 17%増) の成長を示しました。急性冠症候群および心筋梗塞発症後のハイリスク患者さんの治療における患者数の増加が継続しました。

新興市場の売上は 34%増加（CER ベースでは 40%増）して 2 億 9,100 万ドル。米国の売上は、主に、病院および小売業双方の需要水準の上昇ならびに 90 日処方の影響増大を反映する加重平均治療期間の長期化にけん引され、9%増の 3 億 5,100 万ドルに達しました。ヨーロッパのブリリンタの売上は、主に、ドイツ、フランスおよびイタリアでの業績を反映し、本上半期 2%増加（CER ベースでは 5%増）し 1 億 7,300 万ドルに達しました。

Onglyza

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 5%減（CER ベースでは 3%減）の 2 億 5,600 万ドルでした。

新興市場の売上は、中国の業績にけん引され、15%増（CER ベースで 21%増）の 1 億ドル。Onglyza の米国の売上は、本上半期 12%減少し 1 億 500 万ドルでした。ヨーロッパの売上も、DPP-4 阻害剤クラスからの転換という広範な傾向が強調され、21%減（CER ベースでは 18%減）の 2,900 万ドルでした。フォシーガの大きな将来性を考慮し、当社は Onglyza よりもフォシーガへの営業的支援を引き続き優先します。

ビデュリオン

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 24%減（CER ベースでは 23%減）の 2 億 1,600 万ドルでした。

米国における売上は、競合圧力とマネジドケア市場の影響の結果、本上半期 21%減少し 1 億 8,500 万ドルでした。患者さんは引き続きデュアル・チェンバー・ペンから BCise デバイスへと移行しました。ヨーロッパのビデュリオンの売上は 29%減（CER ベースでは 26%減）の 2,400 万ドル。直近および今後予想されるビデュリオンの業績を反映し、1 億 200 万ドルの無形資産減損費用が本上半期計上されました。

Qternmet

本上半期間中、競合環境の好ましくない変化により、当社は計画されていた Qternmet（metformin、フォシーガおよび Onglyza の定量配合剤）の上市を中止することを決定しました。

ロケルマ

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 2,800 万ドルに達しました。2020 年第 2 四半期の売上 1,700 万ドルは 2020 年第 1 四半期に対し 56%の増加（CER ベースでは 58%増）を示しました。

直近の発売をうけ、売上の大部分は米国で達成されました。ロケルマは本上半期、新規処方市場のシェアを伸ばしました。本製品はEU、中国および日本などの多くの市場において高カリウム血症治療薬として承認されていますが、間もなく他の複数の市場においても上市されることが予定されています。

roxadustat

全てが既存提携収入からなる総売上高は本上半期 1,100 万ドルに達しました。本期間中、中国における病院リスティングへの注力が引き続き見られ、4 万人以上の患者さんが本剤による慢性腎臓病（CKD）に伴う貧血の治療を受けました。roxadustat は中国の NMPA により慢性腎臓病に伴う貧血で透析依存患者さんおよび非透析依存患者さんに対し、それぞれ 2018 年 12 月および 2019 年 8 月に承認されました。roxadustat は中国の NRDL に 2020 年 1 月付で記載されました。

中国において、当社は現在 roxadustat の総利益の持ち分を提携収入として計上しています。本上半期間中に FibroGen とアストラゼネカは、中国における roxadustat の開発と商業化に関して 2013 年 7 月 30 日に最初に締結された既存のライセンス、開発および商業化に関する契約を変更する修正契約を 2020 年 7 月 1 日付で締結しました。本修正契約により、2021 年に全面稼働を開始すれば、FibroGen はその売上に基づく収益をその組織で計上する一方、アストラゼネカは中国における今後の収益の大部分を製品売上として計上する可能性が高い共同で所有する組織を設立します。

従来製品: クレストール

大部分が製品売上からなる総売上高は本上半期 10%減（CER ベースでは 7%減）の 5 億 8,300 万ドルでした。

新興市場の売上は 9%減（CER ベースでは 6%減）の 3 億 6,900 万ドル。この業績は中国の数量ベースの調達によるマイナスの影響を受けました。米国の売上は、17%減の 4,500 万ドル。ヨーロッパの売上は 13%減（CER ベースでは 12%減）の 6,500 万ドルでした。

● バイオフーマ：呼吸器・免疫領域

総売上高は本上半期 5%増（CER ベースでは 7%増）の 26 億 7,600 万ドルに達し、総売上高合計の 21%を占めました（2019 年上半期：22%）。これには *Duaklir*、*Eklira* および *Siliq* の既存提携収入 800 万ドルが含まれます。

シムビコート

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 23%増（CER ベースでは 26%増）の 14 億 4,200 万ドル。

米国の売上は 46%増の 5 億 5,800 万ドル。シムビコートのオーソライズド・ジェネリックが当社の提携先である Prasco により米国で 2020 年 1 月に発売されました。また、シムビコートは吸入副腎皮質ステロイド（ICS）/長時間作用型 β 刺激薬（LABA）クラスにおける世界市場の数量ベースおよび金額ベースでのトップ製品としての地位も継続しました。新興市場の売上は、特に、中国、中東およびアフリカの堅調な業績を反映し、本上半期 10%増（CER ベースでは 16%増）の 2 億 9,000 万ドルでした。

ヨーロッパの売上は本上半期 1%増（CER ベースでは 4%増）の 3 億 5,600 万ドル。日本では、アストラゼネカが 2019 年アステラス製薬との共同プロモーション契約を終了し全権利を取り戻した効果が継続し、売上は本上半期 53%増（CER ベースでは 51%増）の 1 億 200 万ドル。この売上増は後発品の市場参入にも関わらず達成されました。

パルミコート

全てが製品売上からなる総売上高は 33%減（CER ベースでは 32%減）の 4 億 7,700 万ドル。

本上半期、パルミコートの売上が 36%減少（CER ベースでは 34%減）し 3 億 7,100 万ドルであったであった新興市場は、パルミコートの全世界の総売上高の 78%を占めました。中国の業績は引き続き COVID-19 の影響を受け、外来患者用の噴霧療法室（ネブライザールーム）への小児来訪者数や経口ステロイド剤が不適切な場合パルミコートが手術で使用可能な成人の待機手術例数が大幅に減少しました。この減少はパルミコートの新興市場の売上が 78%減少（CER ベースでは 76%減）して 5,800 万ドルとなった第 2 四半期に特に顕著でした。これは中国における良性インフルエンザの流行期も反映しており、結果として喘息増悪の症例数が大幅に減少しました。

米国の売上は 36%減の 3,600 万ドル。ヨーロッパの売上は、8%減（CER ベースでは 4%減）の 4,000 万ドルでした。

ファセンラ

ファセンラは、米国、EU 諸国および日本を含む 58 カ国で、コントロール不良の重症好酸球性喘息の治療薬として薬事承認を取得しています。さらなる薬事承認審査が進行中であり、ファセンラに関して 41 カ国において保険償還が既に認められています。全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 44%増（CER ベースでは 45%増）の 4 億 2,600 万ドルでした。

米国の売上は、COVID-19 による制約の結果として自己投与が増加したことが寄与し、本四上半期 31%増の 2 億 7,200 万ドル。ファセンラは米国において、上記適応に対する新規処方数における新規生物製剤のトップ製品として本上半期を終えました。ヨーロッパの売上は、多くの上市の成功を反映し、96%増（CER ベースでは 102%増）の 8,800 万ドル。日本の売上は 21%増（CER ベースでは 20%増）の 4,600 万ドル。既承認の適応および新規患者数において、ファセンラはヨーロッパの上位 5 市場および日本においてすべての生物製剤中トップのマーケットシェアを獲得しました。新興市場の売上は本上半期 700 万ドルに達しました（2019 年上四半期：100 万ドル）。

Daliresp/Daxas

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 1%増（CER ベースでは 2%増）の 1 億 600 万ドル。

全世界の売上の 85%を占める米国の売上は、需要の増加にけん引され、1%増の 9,000 万ドルでした。

ビベスピ

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 10%増の 2,200 万ドル。

ビベスピは米国、多くの欧州諸国と日本で発売されました。世界中で LABA/長時間作用性ムスカリン受容体拮抗薬クラスは、想定より遅いスピードで成長を続けています。

ブレズトリ

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 1,100 万ドル（2019 年上半期：なし）。

日本および中国での COPD 治療薬としての上市成功後、ブレズトリは最近米国で承認されました。

その他製品（主要 3 治療領域以外）

大部分が製品売上からなる総売上高は本上半期 8%減（CER ベースでは 6%減）の 11 億 5,100 万ドル。この業績は一部 2020 年 4 月の *Movantik* のヨーロッパ、カナダおよびイスラエルを除く世界的権利の RedHill Biopharma への売却を反映しています。その他製品の総売上高は総売上高合計の 9%を占めました（2019 年上半期：11%）。

ネキシウム

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 5%減（CER ベースでは 3%減）の 7 億 3,100 万ドル。新興市場のネキシウムの売上は増減なし（CER ベースでは 4%増）の 3 億 7,000 万ドル。ヨ

ヨーロッパの売上は 20%増（CER ベースでは 25%増）の 3,800 万ドル、米国の売上は 30%減の 8,900 万ドル。

オメプラール (Losec/Prilosec)

全てが製品売上からなる総売上高は本上半期 32%減（CER ベースでは 30%減）の 9,900 万ドル。新興市場のオメプラールの売上は 15%減（CER ベースでは 12%減）の 8,100 万ドル。ヨーロッパの売上は 68%減の 1,000 万ドル、日本の売上は 45%減（CER ベースでは 46%減）の 500 万ドル。

シナジス

アヴィ社が 1997 年から保持する米国以外のシナジスの販売・流通に関する商業権は、現行契約が終了する 2021 年 6 月 30 日にアストラゼネカに返還されます。全般的に、2021 年 7 月 1 日より米国以外の地域では当社が単独で本製品の販売および販売促進を行うこととなります。スウェーデンの Orphan Biovitrum AB (publ) との米国におけるシナジスの権利に関する契約についてこの決定による影響はありません。

地域別総売上高

Table 9 : 地域別総売上高

	2020 年上半期				2020 年第 2 四半期		
	100 万 ドル	合計 (%)	増減 (%)		100 万 ドル	増減 (%)	
			実質	CER		実質	CER
新興市場	4,329	34	9	15	2,056	6	13
中国	2,659	21	10	14	1,243	7	12
中国以外	1,671	13	8	15	813	4	15
米国	4,177	33	13	13	2,085	10	10
ヨーロッパ	2,447	19	17	20	1,244	12	15
既成市場	1,676	13	7	7	890	2	3
日本	1,232	10	3	2	679	(2)	(3)
カナダ	298	2	33	35	143	28	35
その他 RoW 既成市場	145	1	2	10	68	6	17
合計	12,629	100	12	14	6,275	8	11

業績発表日程

当社は2020年11月5日（木）に9カ月累計および第3四半期財務業績を発表する予定です。

アストラゼネカについて

アストラゼネカは、サイエンス志向のグローバルなバイオ・医薬品企業であり、主にオンコロジー、循環器・腎・代謝（CVRM）、および呼吸器・自己免疫の3つの重点領域の疾患治療のための、医療用医薬品の創薬、開発、製造およびマーケティング・営業活動に従事しています。アストラゼネカは英国ケンブリッジに本社を置き、100カ国以上で事業を展開しており、その革新的な医薬品は世界中で多くの患者さんに使用されています。詳細については <http://www.astrazeneca.com> または、ツイッター [@AstraZeneca](https://twitter.com/AstraZeneca)（英語のみ）をフォローしてご覧ください。